

加古川市施策評価シート
(平成29年度施策実行プラン及び平成30年度施策評価)

教育総務部

基本目標	02 心豊かに暮らせるまちをめざして	政策	01 学校教育を充実する
施策	01 特色ある就学前教育を推進する		
施策の展開	1. 教育内容の充実 3. 地域や家庭における教育力の向上		2. 教職員の資質能力の向上

基本方針	人格形成の基盤、学校教育の基礎となる力を培うため、認定こども園、幼稚園及び保育所との連携を図るなど、幼児の日々の生活、心身の発達及び学びの連続性を踏まえた質の高い就学前教育を推進します。また、地域や家庭における教育力の向上を支援します。
------	--

まちづくりの指標(市民意識調査結果)とその他の関連指標							
まちづくりの指標	総合計画策定時	H28	H29	H30	H31	H32	目標値(H32)
就学前教育の内容に関して満足している市民の割合	47.4% (H26年度)	52.0%	54.2%				53.0%
その他の関連指標	表記	H27	H28	H29	データ所管課等		
幼稚園の学級数・園児数	単年	122学級・2,302人	119学級・2,246人	112学級・2,102人	学務課		
各幼稚園で掲げる実践目標を達成している園の割合	単年度	85.0%	85.0%	89.5%	学校教育課		

平成29年度施策実行プラン(施策実施計画)【年度当初】
※各部局における「現状と課題」とその解決に向けた「平成29年度施策実行プラン(施策実施計画)」
●幼稚園運営に係る光熱水費の支払い、文具類や教材等の購入、施設設備の修繕や遊具の管理、楽器調律、警備業務、送迎バス運行管理業務等、引き続き効率的・効果的かつ適正な運営管理に努めます。

平成30年度施策評価【年度終了後】
※各部局における「平成29年度施策実行プラン(施策実施計画)」の進捗状況と評価
進捗状況 : 「B 概ね期待どおり」
●幼稚園の運営については、光熱水費の支払、文具類や教材等の購入、老朽化施設設備の計画的な修繕や遊具の管理等、適正な運営管理を行いました。

加古川市施策評価シート
(平成29年度施策実行プラン及び平成30年度施策評価)

教育指導部

基本目標	02 心豊かに暮らせるまちをめざして	政策	01 学校教育を充実する
施策	01 特色ある就学前教育を推進する		
施策の展開	1. 教育内容の充実 3. 地域や家庭における教育力の向上		2. 教職員の資質能力の向上

基本方針	人格形成の基盤、学校教育の基礎となる力を培うため、認定こども園、幼稚園及び保育所との連携を図るなど、幼児の日々の生活、心身の発達及び学びの連続性を踏まえた質の高い就学前教育を推進します。また、地域や家庭における教育力の向上を支援します。
------	--

まちづくりの指標(市民意識調査結果)とその他の関連指標							
まちづくりの指標	総合計画策定時	H28	H29	H30	H31	H32	目標値(H32)
就学前教育の内容に関して満足している市民の割合	47.4% (H26年度)	52.0%	54.2%				53.0%
その他の関連指標	表記	H27	H28	H29	データ所管課等		
幼稚園の学級数・園児数	単年	122学級・2,302人	119学級・2,246人	112学級・2,102人	学務課		
各幼稚園で掲げる実践目標を達成している園の割合	単年度	85.0%	85.0%	89.5%	学校教育課		

平成29年度施策実行プラン(施策実施計画)【年度当初】
※各部局における「現状と課題」とその解決に向けた「平成29年度施策実行プラン(施策実施計画)」
<ul style="list-style-type: none"> ●地域の幼稚園がセンター的な役割を担い、保護者が子育てを通してつながったり、必要に応じて関係機関等の情報を得たりできるよう施策展開をすすめていきます。 ●保護者を対象とした研修の場を提供し、子育てに関する知恵を学ぶ機会をもうけて、地域全体で子育てを行うという目標実現にむけた意識の醸成を図ります。

平成30年度施策評価【年度終了後】
※各部局における「平成29年度施策実行プラン(施策実施計画)」の進捗状況と評価
進捗状況 : 「B 概ね期待どおり」
<ul style="list-style-type: none"> ●各幼稚園が地域の子育て支援のセンター的役割を担い、地域の特性や保護者のニーズに合わせた保育計画や子育て支援事業を展開することで、保護者同士の輪が広がり、個育て・孤育てによる育児不安、育児ストレスの軽減につながる事業が実施できました。今後は、保護者が園に気軽に足を運び、親子で遊んだり子育て相談ができるよう、回数を増やしたり場の提供をしたりするなど積極的に行い、更なる支援体制の充実に努めていきます。 ●家庭教育大学や園主催の講演会、子育て支援事業に係わる講演会などをうまく活用し、できるだけたくさんの保護者が学べる場を設定することで保護者自身の心の変容が見られました。今の保護者は情報に頼ることが多いため、確かな情報の発信と保護者が求めている情報の発信に努めていきます。

加古川市施策評価シート
(平成29年度施策実行プラン及び平成30年度施策評価)

教育総務部

基本目標	02 心豊かに暮らせるまちをめざして	政策	01 学校教育を充実する
施策	02 義務教育を充実する		
施策の展開	1. 教育内容の充実		2. 教職員の資質能力の向上

基本方針	変化の激しい時代を生き生きと主体的に生きていく基盤を培うため、一人一人の学ぶ意欲や学力を向上させ、豊かな心と健やかな体を育成する義務教育の充実を図ります。
------	---

まちづくりの指標(市民意識調査結果)とその他の関連指標

まちづくりの指標	総合計画策定時	H28	H29	H30	H31	H32	目標値(H32)
義務教育の内容に関して満足している市民の割合	53.3% (H26年度)	54.9%	56.8%				59.0%
その他の関連指標	表記	H27	H28	H29	データ所管課等		
小学校の学級数・児童数	単年	544学級・14,750人	535学級・14,562人	547学級・14,557人	学務課		
中学校の学級数・生徒数	単年	240学級・7,899人	239学級・7,666人	225学級・7,260人	学務課		
400字詰め原稿用紙2~3枚の感想文や説明文を書くことが難しいと感じない児童・生徒の割合	単年度	35.3%	38.4%	39.4%	学校教育課		
運動やスポーツをすることが好きと感じている児童・生徒の割合	単年度	87.1%	85.8%	85.9%	学校教育課		

平成29年度施策実行プラン(施策実施計画)【年度当初】

※各部局における「現状と課題」とその解決に向けた「平成29年度施策実行プラン(施策実施計画)」

●小・中学校の運営管理については、光熱水費の支払い、一般・教材備品や学校図書の整備、施設設備の修繕や遊具の管理、警備業務など、適正な運営管理に努めます。

平成30年度施策評価【年度終了後】

※各部局における「平成29年度施策実行プラン(施策実施計画)」の進捗状況と評価

進捗状況 : 「B 概ね期待どおり」

小・中学校の運営管理については、電力調達会社の変更や厳冬の影響等による光熱水費・燃料費等の増加があったものの、一般・教材備品等の計画的な購入や施設設備の老朽化に伴う修繕を行い、適正な運営管理を行いました。

加古川市施策評価シート
(平成29年度施策実行プラン及び平成30年度施策評価)

教育指導部

基本目標	02 心豊かに暮らせるまちをめざして	政策	01 学校教育を充実する
施策	02 義務教育を充実する		
施策の展開	1. 教育内容の充実		2. 教職員の資質能力の向上

基本方針	変化の激しい時代を生き生きと主体的に生きていく基盤を培うため、一人一人の学ぶ意欲や学力を向上させ、豊かな心と健やかな体を育成する義務教育の充実を図ります。
------	---

まちづくりの指標(市民意識調査結果)とその他の関連指標

まちづくりの指標	総合計画策定時	H28	H29	H30	H31	H32	目標値(H32)
義務教育の内容に関して満足している市民の割合	53.3% (H26年度)	54.9%	56.8%				59.0%
その他の関連指標	表記	H27	H28	H29	データ所管課等		
小学校の学級数・児童数	単年	544学級・14,750人	535学級・14,562人	547学級・14,557人	学務課		
中学校の学級数・生徒数	単年	240学級・7,899人	239学級・7,666人	225学級・7,260人	学務課		
400字詰め原稿用紙2～3枚の感想文や説明文を書くことが難しいと感じない児童・生徒の割合	単年度	35.3%	38.4%	39.4%	学校教育課		
運動やスポーツをすることが好きと感じている児童・生徒の割合	単年度	87.1%	85.8%	85.9%	学校教育課		

平成29年度施策実行プラン(施策実施計画)【年度当初】

※各部局における「現状と課題」とその解決に向けた「平成29年度施策実行プラン(施策実施計画)」

- ことばの力総合推進事業では、「ことばの力」育成プログラムに基づく授業実践を支援するために、「ことばの力」配達人を全小学校・養護学校に派遣し、思考力・判断力・表現力の向上を図ります。また、学力向上推進委員会を設置して、プログラムの検証と改善を継続するとともに、実践事例集を活用し授業力向上を目指します。
- 英語活動支援事業では、英語によるコミュニケーション能力の素地と基礎を養い、グローバル社会で活躍貢献できる人材の育成を目指して、認定こども園や保育所、幼稚園、小学校1年生からのALT配置を継続することで、コミュニケーション活動の充実を図ります。また、外国語活動担当や英語科の教員の指導力向上研修の更なる充実を目指します。
- 学校ウェルネス促進事業では、子どもたちが自らの体力や食習慣をはじめとする生活習慣等を定期的にチェックすることで、自分自身の体力や健康に興味関心を持ち、個人的スキルや能力の強化を図り、生涯にわたって心身ともに健康な生活を送ろうとする子どもの育成を目指すため、小学5年生から中学3年生までの5年間、「かがわウェルネス手帳」を授業や校外活動等で継続的に活用します。
- 文化・体育活動推進事業では、小学校陸上記録大会、連合音楽会、美術展、書写展、理科作品展の開催や中学校部活動における全市的な外部技術指導者の派遣及び対外試合、対外文化活動の参加助成を通して、文化・体育活動を推進します。
- 調査研究事業では、学校長から推薦のあった研究員が教育についての専門的・技術的事項の研究を深め、その成果を研究発表会・紀要を通して、広く市内の学校に提供することにより、本市教育の一層の充実発展に寄与することを目指します。
- 研修事業では、教職員のやりがい・生きがいにつながる研究・研修の推進、教育課題や学習指導要領に対応した研修の充実、マネジメントを意識した研修の推進を柱とし、学習指導要領の改訂を見据え、更に教育内容が充実するよう教職員の意識改革と指導力の向上を目指します。
- 教育研究所に要する一般的経費では、教育研究所の効率的運営を行うことにより、教職員の資質向上を目指します。

加古川市施策評価シート
(平成29年度施策実行プラン及び平成30年度施策評価)

教育指導部

基本 目標	02 心豊かに暮らせるまちをめざして	政策	01 学校教育を充実する
施策	02 義務教育を充実する		
施策の 展開	1. 教育内容の充実		2. 教職員の資質能力の向上
平成30年度施策評価【年度終了後】			
※各部局における「平成29年度施策実行プラン(施策実施計画)」の進捗状況と評価			
進捗状況 : 「B 概ね期待どおり」			
<p>●ことばの力総合推進事業では、全小学校、養護学校に「ことばの力」配達人を派遣し、各学校・学年等に応じた思考力・判断力・表現力等の向上につなげることができました。また、全学校園での「ことばの力」育成に向けた取組を集約し、「ことばの力」実践事例集を作成しました。</p> <p>●英語活動支援事業では、市内全小・中・養護学校へ25名のALTを配置し、幼稚園・保育園・こども園へも派遣することで、多くの子どもたちにとって、英語によるコミュニケーション活動を体験する機会の充実を図ることができました。また、夏季休業中に外国語活動・英語科のスキルアップ研修会を実施し、教員の指導力向上を図ることができました。</p> <p>●学校ウェルネス促進事業では、「かこがわウェルネス手帳」を活用し、体力や食習慣をはじめとする生活習慣等を定期的に振り返り、子どもたち自らが心身ともに健康な生活を送ろうとする態度や健康や体力に関する意識の向上につながっています。</p> <p>●文化・体育活動推進事業では、大会や音楽会、各種作品展の開催を通して、スポーツや芸術に親しむとともに、学校間や児童生徒の交流を図ることができました。また、中学校部活動における外部技術指導者の派遣や大会等への参加助成等により、より専門的な指導やレベルの高い交流で、部活動の充実を図ることができました。</p> <p>●調査研究事業では、専門的・技術的事項の研究を深め、その成果を研究発表会・紀要を通して、広く市内の学校に提供したことにより、教職員の資質と教育実践力の向上に寄与できました。</p> <p>●研修事業では、教職員のやりがい・生きがいにつながる研修の推進、喫緊の教育課題や新学習指導要領の実施に向けた研修の充実、管理職研修の充実等を通して、教職員の意識の高揚と指導力の向上を推進することができました。</p> <p>●教育研究所に要する一般的経費では、効率的運営を行い、教職員の資質向上に寄与できました。</p>			

加古川市施策評価シート
(平成29年度施策実行プラン及び平成30年度施策評価)

教育総務部

基本目標	02 心豊かに暮らせるまちをめざして	政策	01 学校教育を充実する
施策	03 特別支援教育を充実する		
施策の展開	1. 教育内容の充実		2. 教職員の資質能力の向上

基本方針	障がいのある幼児・児童・生徒の自立や社会参加に必要な力を培うため、自らの能力や可能性を最大限に伸ばすことを目指した特別支援教育の充実を図ります。
------	--

まちづくりの指標(市民意識調査結果)とその他の関連指標

まちづくりの指標	総合計画策定時	H28	H29	H30	H31	H32	目標値(H32)
加古川養護学校における支援環境の充実の達成度	53.8% (H26年度)	75.40%	78.8%				80.0%
特別支援教育の内容に関して満足している市民の割合	49.2% (H26年度)	53.9%	56.2%				55.0%
その他の関連指標	表記	H27	H28	H29	データ所管課等		
特別支援学校の学級数・生徒数	単年	27学級・63人	25学級・62人	26学級・63人	学務課		

平成29年度施策実行プラン(施策実施計画)【年度当初】

※各部局における「現状と課題」とその解決に向けた「平成29年度施策実行プラン(施策実施計画)」
●特別支援学校運営に係る光熱水費の支払い、一般・教材備品等の整備、施設設備の修繕やスクールバスの運行管理、警備業務等、引き続き効率的・効果的かつ適正な運営管理に努めます。

平成30年度施策評価【年度終了後】

※各部局における「平成29年度施策実行プラン(施策実施計画)」の進捗状況と評価
進捗状況 : 「B 概ね期待どおり」
特別支援学校の運営管理については、光熱水費の支払、教材備品等の整備、施設設備の修繕やスクールバスの運行管理等、適正な運営管理を行いました。

加古川市施策評価シート
(平成29年度施策実行プラン及び平成30年度施策評価)

教育指導部

基本目標	02 心豊かに暮らせるまちをめざして	政策	01 学校教育を充実する
施策	03 特別支援教育を充実する		
施策の展開	1. 教育内容の充実		2. 教職員の資質能力の向上

基本方針	障がいのある幼児・児童・生徒の自立や社会参加に必要な力を培うため、自らの能力や可能性を最大限に伸ばすことを目指した特別支援教育の充実を図ります。
------	--

まちづくりの指標(市民意識調査結果)とその他の関連指標							
まちづくりの指標	総合計画策定時	H28	H29	H30	H31	H32	目標値(H32)
加古川養護学校における支援環境の充実の達成度	53.8% (H26年度)	75.0%	78.8%				80.0%
特別支援教育の内容に関して満足している市民の割合	49.2% (H26年度)	53.9%	56.2%				55.0%
その他の関連指標	表記	H27	H28	H29	データ所管課等		
特別支援学校の学級数・生徒数	単年	27学級・63人	25学級・62人	26学級・63人	学務課		

平成29年度施策実行プラン(施策実施計画)【年度当初】
<p>※各部局における「現状と課題」とその解決に向けた「平成29年度施策実行プラン(施策実施計画)」</p> <p>特別支援教育は、障がいのある子どもたちにとって、日々の学校生活や学習における困難を改善・克服し、自立を図る上で、極めて重要な役割を担っています。また、障害者権利条約批准や改正障害者基本法の趣旨及び平成28年4月からの障害者差別解消法の施行等を踏まえ、インクルーシブ教育システムの推進に向けた取組として、組織的、計画的、継続的な支援体制を発展、充実させていくことが必要だと考えています。そこで、主として、次の3点に取り組みます。</p> <p>①加古川養護学校での医療的ケアが安全かつ安定的に実施できるよう研修の充実を図ります。【特別支援教育推進事業】</p> <p>②介助が必要な子どもたちがいる学校へ補助指導員を配置したり、発達障害等通常学級において特別な支援が必要な子どもたちがいる学校へスクールアシスタントを配置します。【特別支援教育推進事業】【特別支援教育児童生徒サポート事業】</p> <p>③適正就学指導委員会において、検査対象者の増加に伴い、検査員の教育業務への支障を改善するために、専門検査員を増員します。【適正就学指導委員会運営事業】</p>

平成30年度施策評価【年度終了後】
<p>※各部局における「平成29年度施策実行プラン(施策実施計画)」の進捗状況と評価</p> <p>進捗状況 : 「B 概ね期待どおり」</p> <p>●加古川養護学校において喀痰吸引等の必要なケアを安全かつ適切に行うことができる教職員を養成するために、加古川市教育委員会が登録指定機関となって研修を実施することで、必要な知識および技術を教職員が身につけることができました。そのことにより、加古川養護学校で医療的ケアを必要とする幼児・児童・生徒が安全な学校生活をおくる体制を推進し、教育及び発達を保障することができています。</p> <p>●小・中学校に在籍する移動介助、身辺処理等の介助を要する子どもに対応するため、19名の補助指導員を必要に応じて配置することができました。今後も、インクルーシブ教育システムの推進に向け、夏季就学相談や適正就学指導委員会での判断等をもとに、介助を要する子どもおよび障がいの程度の重い子どもに携わる補助指導員を増員し、人的な支援体制を推進していく必要があります。</p> <p>●適正就学指導委員会において、保護者のニーズとして専門家の意見を参考にできることから、本事業に対する期待は大きいものがありますが、対象児童生徒の増加に伴い、検査員の教育業務への支障を改善するために専門検査員を増員し、検査員の教育業務への支障の改善につながっています。しかし、年々対象児童生徒が増加しているため、今後も専門検査員を増員していく必要があります。</p>

加古川市施策評価シート
(平成29年度施策実行プラン及び平成30年度施策評価)

教育総務部

基本目標	02 心豊かに暮らせるまちをめざして	政策	01 学校教育を充実する
施策	04 教育を支える環境を整備する		
施策の展開	1. 教育支援体制の充実 3. 高等学校、高等教育機関等との連携		2. 安全で快適な学習環境の整備

基本方針	<p>学校園においては、開かれた学校園づくりを推進するとともに、家庭、地域、学校園が連携・協力し、子どもたちの学びや育ちを支える環境の充実を図ります。また、社会環境の変化に対応し、高等学校、高等教育機関等との連携を促進します。</p>
------	---

まちづくりの指標(市民意識調査結果)とその他の関連指標							
まちづくりの指標	総合計画策定時	H28	H29	H30	H31	H32	目標値(H32)
教育を支える環境に関して満足している市民の割合	—	55.0%	55.5%				向上
その他の関連指標	表記	H27	H28	H29		データ所管課等	
不登校児童の割合(小学校)	単年度	0.39%	0.39%	0.46%		青少年育成課	
不登校生徒の割合(中学校)	単年度	2.27%	2.41%	2.89%		青少年育成課	
学校支援ボランティア活動延べ人数	単年度	76,226人	76,425人	76,830人		学校教育課	

平成29年度施策実行プラン(施策実施計画)【年度当初】

※各部局における「現状と課題」とその解決に向けた「平成29年度施策実行プラン(施策実施計画)」

●学校施設の老朽化対策として、昭和56年以前に建設された建物のうち、耐震補強工事しか行っていない棟についてトイレ、内部設備、内装を中心とした改修を順次実施してきたところですが、ここ数年「昭和57年以降に建設された建物」の外壁モルタル片が落下するなどの事案が相次いで発生し、外壁の老朽化が新たに判明しました。従来の老朽改修工事の内容を、トイレ、外壁改修等を中心とした工事に変更し、老朽化対策を進め、学習環境の向上と施設の安全性の確保に努めます。

また、平成28年4月の「障害者差別解消法」の施行に伴い、障害のある子どもが十分に教育を受けられるための合理的配慮及びその基礎となる環境の整備が求められていることから、学校施設のバリアフリーについて、検討を進める必要があります。

平成29年度は、小学校3校(平岡北小、東神吉南小、尾上小)及び中学校3校(神吉中、平岡南中、中部中)について、トイレ、外壁等を中心とした老朽改修工事を進めます。また、学校施設のバリアフリー対策について検討を行うため、小学校11校及び中学校5校のバリアフリー改修設計を実施します。

●学校施設の近隣住民から、校庭植樹(高木)の落葉、ボール飛出し、騒音等について対応を求められています。前年に引き続き、高木剪定など、樹木の適切な管理に努めるとともに、中学校1校(浜の宮中)の防球フェンスを改修し、ボールの飛び出しについて対策を講じます。

●小中学校でのICT機器の導入については、従来から教育用としてコンピュータ教室の整備、校務用として教職員用のコンピュータの整備を行っていますが、文科省においても「教育のIT化に向けた環境整備4か年計画」が策定され、特に教育用コンピュータの環境整備についてはコンピュータ教室だけでなく、普通教室や特別教室でも学習支援のための機器整備を進めていく必要があります。また、学習指導要領では、児童生徒がコンピュータや情報通信ネットワークなどの情報手段を適切に活用できるようにすることが重要とされており、情報教育及び教科指導におけるICT活用の充実が求められています。校務の効率化については、子どもに向き合う時間の確保のため整備率100%を達成していますが、順次更新を進めていく必要があります。今後も、文科省の計画を参考に学校現場のニーズを把握しながら、より効率的な機器の導入について優先順位をつけ整備を行う必要があります。

29年度については、小・中・特別支援コンピュータ管理事業では、リースによりコンピュータ教室及び校務用コンピュータの整備を引き続き行いますが、リースアップ後の機器についても教室等校内で有効活用を図ります。

●中学校給食の実施について、市民の期待が高まっており、完全実施に向け準備や調整を行います。新給食センターの建設や運営についてはDBO方式により準備を進めます。

●平成30年度給食開始予定の両荘中学校については配膳室を整備します。平成32年度実施予定の中学校のうち3校の配膳室の設計を行います。

●中学校給食の実施について学校等関係機関と具体的な調整を行います。

●現在給食を実施している学校の調理機器の老朽化が進んでいるため、計画的に更新を行います。

加古川市施策評価シート
 (平成29年度施策実行プラン及び平成30年度施策評価)

教育総務部

基本 目標	02 心豊かに暮らせるまちをめざして	政策	01 学校教育を充実する
施策	04 教育を支える環境を整備する		
施策の 展開	1. 教育支援体制の充実 3. 高等学校、高等教育機関等との連携		2. 安全で快適な学習環境の整備
平成30年度施策評価【年度終了後】			
※各部局における「平成29年度施策実行プラン(施策実施計画)」の進捗状況と評価			
<p style="text-align: center;">進捗状況 : 「A 期待どおり」</p> <p>平成29年度に予定していた小学校3校、中学校3校のトイレ・外壁等を中心とした老朽改修工事は全て完了し、より良い学習環境を整備することができました。学校施設のバリアフリー対策については、障害のある子どもが十分に教育が受けられるように、今後も対策を進めていく予定です。</p> <p>近隣住民からの指摘を受けているボールの飛び出し等については、防球フェンスの改修工事を行いました。校園庭植樹(高木)の落葉被害については、高木の剪定等を行い対応を進めています。</p> <p>小中学校でのICT機器の導入については、リースアップに伴う計画的な教育用・校務用コンピュータの更新を実施しました。</p> <p>また、「校務支援システム」の導入による、コンピュータの更新も実施しました。</p> <p>中学校給食については、基本計画どおりに実施できるよう事業を推進しています。両荘中では、配膳室の整備や配送トラックの購入、教職員向けの研修会を実施し、開始準備は完了しました。平成30年4月より、円滑に給食を実施しています。(仮称)日岡山学校給食センターでは、事業者選定方法を総合評価一般競争入札によることとし、平成30年4月の入札公告に向け実施方針、要求水準書、落札者決定基準等を作成しました。(仮称)神野台学校給食センターでは、建設用地を土地開発公社により購入し、建設、運営方式をDBOとすることを決定しました。配膳室については、氷丘中、神吉中、陵南中の設計を行い、その他の中学校では設置場所等について協議を行いました。</p> <p>また、既に給食を実施していた学校の老朽化した調理機器については、計画どおり、更新を行いました。</p>			

加古川市施策評価シート
 (平成29年度施策実行プラン及び平成30年度施策評価)

教育指導部

基本目標	02 心豊かに暮らせるまちをめざして	政策	01 学校教育を充実する
施策	04 教育を支える環境を整備する		
施策の展開	1. 教育支援体制の充実 3. 高等学校、高等教育機関等との連携		2. 安全で快適な学習環境の整備

基本方針	学校園においては、開かれた学校園づくりを推進するとともに、家庭、地域、学校園が連携・協力し、子どもたちの学びや育ちを支える環境の充実を図ります。また、社会環境の変化に対応し、高等学校、高等教育機関等との連携を促進します。
------	--

まちづくりの指標(市民意識調査結果)とその他の関連指標							
まちづくりの指標	総合計画策定時	H28	H29	H30	H31	H32	目標値(H32)
教育を支える環境に関して満足している市民の割合	—	55.0%	55.5%				向上
その他の関連指標	表記	H27	H28	H29	データ所管課等		
不登校児童の割合(小学校)	単年度	0.39%	0.39%	0.46%	青少年育成課		
不登校生徒の割合(中学校)	単年度	2.27%	2.41%	2.89%	青少年育成課		
学校支援ボランティア活動延べ人数	単年度	76,226人	76,425人	76,830人	学校教育課		

平成29年度施策実行プラン(施策実施計画)【年度当初】

※各部局における「現状と課題」とその解決に向けた「平成29年度施策実行プラン(施策実施計画)」

- すべての子どもが学校生活に不適應を起こす可能性を持っているという認識のもと、一次・二次・三次というマルチレベルでの支援が必要です。そこで、いじめ、不登校、自殺等の問題に対して、それぞれのレベルでの具体的な支援について事業を実施します。
- 中学校区連携ユニット12推進事業では、各ユニットの特色をいかし、知・徳・体のいずれかの分野で、カリキュラム連携を推進する。さらに、各ユニットの学校園管理職、公民館長、地域コーディネーターが参加するユニット拡大推進部会において、目指す子ども像を共有したり支援のあり方を協議したりするなど内容を充実させることで、地域と協働したヨコの連携の充実を図ります。
- いのちと心サポート教育研究事業では、自他のいのちを大切にすることを育むように、ユニット12を活用し、情報モラルに関する教育、防災教育を含めたいのちの教育、心の健康教育等について研究を継続します。
- 心の絆プロジェクト事業では、「心の絆宣言」のもとに、各学校の生徒会・児童会による自主的な活動を通して、児童生徒の居場所作りや仲間づくりを進め、誰もが行きたくなる学級・学校づくりを目指します。特に、「つながり」をテーマに掲げ、安心して相談できる人間関係づくりが進むように展開します。
- 外国人児童生徒支援事業では、県の「子ども多文化共生サポーター派遣事業」を引き継ぎ、日本語指導が必要な来日期間24ヶ月未満の外国人児童生徒に対して、外国人児童生徒サポート員を配置し、学習指導や進路指導等の支援を実施します。また、学習言語の習得が困難な外国人児童生徒に対して、外国人児童生徒学習支援ボランティアを派遣し、学習の機会を保障し学力の向上を図ります。
- 学区の拡大に伴う高等学校との円滑な連携については、中学校と高等学校が定期的に情報交換をする機会を持ち、現状と課題の把握に努めます。
- 情報教育基盤管理事業では、ICTを活用した業務の効率化を図るための基盤を維持管理することで、教職員がコンピュータやインターネットを利用した指導ができるようにするとともに、情報化に対応した教職員の指導力向上を目指します。
- ネットワーク整備事業では、センターサーバー化及び統合型校務支援ソフトの導入により、ネットワーク環境を整備することで個人情報等のデータを一括管理し、情報セキュリティの強化と校務の効率化を目指します。
- 学校園コンピュータ保守委託事業では、学校園のコンピュータ関連機器が正常に作動できる状況にするとともに、サポートセンターを設置し、不具合が発生した際に迅速に対応し、授業及び校務に支障をきたさないことを目指します。

加古川市施策評価シート
(平成29年度施策実行プラン及び平成30年度施策評価)

教育指導部

基本 目標	02 心豊かに暮らせるまちをめざして	政策	01 学校教育を充実する
施策	04 教育を支える環境を整備する		
施策の 展開	1. 教育支援体制の充実 3. 高等学校、高等教育機関等との連携		2. 安全で快適な学習環境の整備
平成30年度施策評価【年度終了後】			
※各部局における「平成29年度施策実行プラン(施策実施計画)」の進捗状況と評価			
進捗状況 : 「B 概ね期待どおり」			
<ul style="list-style-type: none"> ● 学校生活適応推進事業において、11回の研修を行い771人の教員が受講しました。また、2回のアセスメントを実施し、児童生徒の適応感についてアプローチを行い、必要に応じた支援を検討しました。(対象児童生徒(小3～中3)16960人) ● 中学校区連携ユニット12推進事業では、各ユニットの特色をいかし、知の分野で5ユニット、徳の分野で6ユニット、体の分野で1ユニットが系統的なカリキュラム連携を進めています。また、全てのユニットにおいてユニット地域協働推進部会が2回以上開催され、目指す子ども像の共有や検討等の協議が行われました。 ● いのちと心サポート教育研究事業では、情報モラルに関する教育、心の健康教育、自殺予防教育を含めたいのちと心の教育について、指定ユニットにおいて研究し、実践事例報告を行いました。 ● 心の絆プロジェクト事業では、各校およびユニットにおいて「つながり」、「自他のいのちと心を大切にする子ども」をテーマにした取組を行うとともに、生徒会代表者ミーティングにより学校ごとの情報交換を行いました。また、取組をまとめたパネルを学校ごとに作成したり、加古川教育フォーラムで活動報告をしたりして、情報発信を行いました。 ● 外国人児童生徒サポート事業では、県の「子ども多文化共生サポーター派遣事業」を引き継ぎ、日本語指導が必要な来日期間24ヶ月未満の外国人児童生徒に対して、外国人児童生徒サポート員を配置し、学習指導や進路指導等の支援を実施しました。また、学習言語の習得が困難な外国人児童生徒に対して、外国人児童生徒学習支援ボランティアを派遣し、学習の機会を保障し、学習内容の定着を図りました。 ● 情報教育基盤管理事業では、学校のICT環境整備を進めるとともに、授業においてICT機器等を有効に活用するための研修を実施し、情報化に対応した教職員のICT活用指導力の向上を図りました。 ● ネットワーク整備事業では、市内全学校(小・中・特別支援学校)においてセンターサーバー化を実施し、情報セキュリティの強化を行いました。また、市内全学校について統合型校務支援ソフトの導入が完了したことにより、校務の効率化が期待できます。 ● 学校園コンピュータ保守委託事業では、学校園からの連絡を受け、ICTサポートセンター及び関係業者との連携を密にし、障害回復や要望に迅速に対応するよう努めました。 			

加古川市施策評価シート
(平成29年度施策実行プラン及び平成30年度施策評価)

教育指導部

基本目標	02 心豊かに暮らせるまちをめざして	政策	02 地域における教育・学習環境を整備する
施策	01 生涯学習を推進する		
施策の展開	1. 生涯学習推進体制の充実 3. 社会教育施設の充実		2. 生涯学習内容の充実

基本方針	市民の生涯にわたる学習活動を支援するとともに、市民が習得した知識や技能を社会や地域に生かせる環境を整えるなど、生涯学習を推進します。
------	--

まちづくりの指標(市民意識調査結果)とその他の関連指標

まちづくりの指標	総合計画策定時	H28	H29	H30	H31	H32	目標値(H32)
生涯学習機会や学習環境に関して満足している市民の割合	52.7% (H26年度)	58.9%	60.6%				58.0%
その他の関連指標	表記	H27	H28	H29	データ所管課等		
公民館利用人数	単年	1,090,427人	1,054,918人	1,057,329人	社会教育・スポーツ振興課		
市民一人あたりの公民館利用回数	単年度	4.1回	3.9回	4.0回	社会教育・スポーツ振興課		
市民一人あたりの図書貸出冊数	単年度	6.3冊	5.7冊	5.5冊	中央図書館		

平成29年度施策実行プラン(施策実施計画)【年度当初】

※各部局における「現状と課題」とその解決に向けた「平成29年度施策実行プラン(施策実施計画)」

- 子どもの読書環境を整備するための第2次「加古川市子どもの読書活動推進計画」に沿った取り組みや電子図書館システムによる資料提供について継続して実施します。
- 図書館では、視覚障がい者に対して新しいサービスを実施していくとともに、他の障がい者や来館困難な利用者に対するサービスについて検討を進めます。
- 中央及び加古川図書館の老朽化に対応して快適な施設の維持に努めます。

平成30年度施策評価【年度終了後】

※各部局における「平成29年度施策実行プラン(施策実施計画)」の進捗状況と評価

進捗状況 : 「B 概ね期待どおり」

- 「子どもの読書活動推進計画」について、図書館では同実施計画において、「概ねできている」以上の評価となりました。また、平成28年度導入の電子書籍は、所蔵点数1,345で5,828点の貸出があり、利用が定着してきたと思われます。いずれについても、今後も堅実に取り組んでいく必要があります。
- 図書館での視覚障がい者サービスについては、平成29年度に中央図書館がサピエ(日本点字図書館。全国視覚障害者情報提供施設協会が管理運営)に加入し、点字や音声資料を提供できる環境整備を行いました。今後は利用拡大に向けて継続的な広報活動を行う必要があります。また、他の障がい者や来館困難者へのサービスについても、検討を進めていく必要があります。
- 図書館の蔵書の更新については、開架冊数の10%の更新という目標は達成できませんでしたが、中央図書館で約7%、加古川図書館で約6%の新規購入を行いました。引き続き効率的な選書を行っていく必要があります。また、施設の老朽化対策については、中央図書館では築後30年以上が経過し、経年劣化による不具合箇所を計画的に対応していますが、修繕が必要な箇所の増加が予想されます。昭和10年築の加古川図書館については、大規模改修後40年以上が経過し、軽微な修繕では対応できない状況にあり、大規模改修や移転等も含めた対策が急がれます。

加古川市施策評価シート
(平成29年度施策実行プラン及び平成30年度施策評価)

教育指導部

基本目標	02 心豊かに暮らせるまちをめざして	政策	02 地域における教育・学習環境を整備する
施策	02 地域総がかりで青少年の健全な育成を図る		
施策の展開	1. 家庭や地域における教育力の向上 3. 青少年への支援体制の充実		2. 青少年育成環境の向上

基本方針	家庭や地域における教育力の向上を支援するとともに、家庭、地域、学校園などが連携・協力し、青少年の学びや育ちを支え、心身の健全な成長を促します。
------	---

まちづくりの指標(市民意識調査結果)とその他の関連指標

まちづくりの指標	総合計画策定時	H28	H29	H30	H31	H32	目標値(H32)
青少年の健全な育成に関して満足している市民の割合	42.8% (H26年度)	46.2%	51.4%				50.0%
その他の関連指標	表記	H27	H28	H29	データ所管課等		
地域(小学校区・町内会)での多世代交流イベントの実施割合	単年度	93.1%	86.3%	84.2%	社会教育・スポーツ振興課		

平成29年度施策実行プラン(施策実施計画)【年度当初】

※各部局における「現状と課題」とその解決に向けた「平成29年度施策実行プラン(施策実施計画)」

- 全ての就学児童が放課後を安全・安心に過ごし、多様な体験・活動ができるよう、放課後子ども教室(チャレンジクラブ)事業を引き続き実施します。今年度は、昨年度より6小学校区を拡大し、市内15校区で実施します。実施に当たっては、かがわウェルビーポイント制度を活用するなどして、できるだけ多くの地域住民の参画を得ることとし、より安定的な運営に努めます。
- 子ども達を心豊かに育むためには自然体験活動は必要不可欠です。少年自然の家では、少年団指導者協議会等と連携してより多くの子ども達に自然体験活動の場を提供していきます。また、引き続き、PTAや少年団等の要請により親子を対象とした出張天体観測室を実施します。
- 誰でもが利用できる少年自然の家となるため、更なるバリアフリー化を検討します。

平成30年度施策評価【年度終了後】

※各部局における「平成29年度施策実行プラン(施策実施計画)」の進捗状況と評価

- 進捗状況 : 「B 概ね期待どおり」
- 放課後子ども教室(チャレンジクラブ)事業を市内15小学校区で実施しました。今後さらに実施校区を拡大していく中で、より多くの地域住民の参加を得られるよう努めます。
 - 天候の関係で6ヶ所しか訪問できませんでしたが、親子(1,303名)を対象に出張天体観測室を実施しました。
 - 車椅子のまま乗車できる階段昇降車の寄贈を受けたことにより、宿泊施設のバリアフリー化は概ね完了しました。

加古川市施策評価シート
(平成29年度施策実行プラン及び平成30年度施策評価)

協働推進部

基本目標	02 心豊かに暮らせるまちをめざして	政策	03 スポーツや文化・芸術を振興する
施策	01 スポーツ・レクリエーション活動を推進する		
施策の展開	1. スポーツ・レクリエーション活動の普及・促進		2. スポーツ・レクリエーション施設の整備・活用

基本方針	市民の誰もが、生涯にわたり、年齢、体力、技術に応じて、スポーツ・レクリエーションを楽しめる環境の充実に努めます。
------	--

まちづくりの指標(市民意識調査結果)とその他の関連指標

まちづくりの指標	総合計画策定時	H28	H29	H30	H31	H32	目標値(H32)
スポーツ・レクリエーションの活動の機会提供に関して満足している市民の割合	51.6% (H26年度)	61.4%	63.4%				58.0%
その他の関連指標	表記	H27	H28	H29	データ所管課等		
体育施設利用者数	単年度	786,130人	809,954人	745,006人	ウェルネス推進課		
加古川ツーデーマーチ参加者数	単年	7,465人	8,258人	8,366人	ウェルネス推進課		
加古川マラソン参加者数	単年	5,199人	5,516人	5,486人	ウェルネス推進課		
週1回以上スポーツをしている20歳以上の市民の割合	単年度	—	48.2%	—	社会教育・スポーツ振興課		

平成29年度施策実行プラン(施策実施計画)【年度当初】

※各部局における「現状と課題」とその解決に向けた「平成29年度施策実行プラン(施策実施計画)」

- 体育施設の多くは老朽化が進んでいるので、効果的な修繕に努めながら安全・安心に施設が利用できるように環境を整備します。また、指定管理者が主催する自主事業等をより一層推進し、幅広い市民ニーズに対応できるようメニューの充実に取り組みます。
- 従来から実施しているスポーツイベント等を継続的に開催するとともに、市民が気軽にスポーツに親しむための情報提供を効果的に行い、スポーツを通じたウェルネスライフの支援に取り組みます。

平成30年度施策評価【年度終了後】

※各部局における「平成29年度施策実行プラン(施策実施計画)」の進捗状況と評価

進捗状況 : 「B 概ね期待どおり」

- 体育施設の老朽化については限られた予算の中で優先順位を決め、効果的な修繕を行うことができました。また、利用者アンケートや事業実施状況等により市民ニーズを把握し、事業に取り入れていくよう指定管理者にモニタリング等を通じて要請しました。その結果、利用方法の変更やプログラム改良など、利用者の声を反映させることができました。
- 市民のウェルネスライフ支援するため、スポーツに親しむ機会づくりとして、加古川マラソン、男子プロバスケットボール(通称Bリーグ)公式戦等、各種スポーツイベントを開催し、効果的な情報提供として、広報紙やHP、ツイッターやインスタグラム等SNSでの発信に加え、JR・じゃらん等、機関紙への記事提供等、民間を活用した情報発信を行いました。

加古川市施策評価シート
(平成29年度施策実行プラン及び平成30年度施策評価)

環境部

基本目標	02 心豊かに暮らせるまちをめざして	政策	03 スポーツや文化・芸術を振興する
施策	01 スポーツ・レクリエーション活動を推進する		
施策の展開	1. スポーツ・レクリエーション活動の普及・促進		2. スポーツ・レクリエーション施設の整備・活用

基本方針	市民の誰もが、生涯にわたり、年齢、体力、技術に応じて、スポーツ・レクリエーションを楽しめる環境の充実を図ります。
------	--

まちづくりの指標(市民意識調査結果)とその他の関連指標

まちづくりの指標	総合計画策定時	H28	H29	H30	H31	H32	目標値(H32)
スポーツ・レクリエーションの活動の機会提供に関して満足している市民の割合	51.6% (H26年度)	61.4%	63.4%				58.0%
その他の関連指標	表記	H27	H28	H29	データ所管課等		
体育施設利用者数	単年度	786,130人	809,954人	745,006人	ウェルネス推進課		
加古川ツーデーマーチ参加者数	単年	7,465人	8,258人	8,366人	ウェルネス推進課		
加古川マラソン参加者数	単年	5,199人	5,516人	5,486人	ウェルネス推進課		
週1回以上スポーツをしている20歳以上の市民の割合	単年度	—	48.2%	—	社会教育・スポーツ振興課		

平成29年度施策実行プラン(施策実施計画)【年度当初】

※各部局における「現状と課題」とその解決に向けた「平成29年度施策実行プラン(施策実施計画)」

<p>【現状と課題】【平成29年度施策実行プラン】 現在、グラウンドゴルフとゲートボールの施設を管理していますが、グラウンドゴルフに関してはよく利用されているもののゲートボールは利用が無い状態が続いています。今後は、施設の有効利用の観点からゲートボール施設の活用を図るため、施設利用目的を見直し、ゲートボールに代わるスポーツレクリエーションを模索します。</p>

平成30年度施策評価【年度終了後】

※各部局における「平成29年度施策実行プラン(施策実施計画)」の進捗状況と評価

<p>進捗状況 : 「B 概ね期待どおり」</p> <p>グラウンドゴルフ場の利用者数は、天候不順、厳冬の影響もあり、対前年度比で323人(約8.9%)減少しています。グラウンドゴルフ場の利用に関しては、天候に左右される傾向にありますが、市内唯一の天然芝で整備された専用グラウンドゴルフ場というセールスポイントをPRして、利用者の増加を図っていきます。ゲートボール場は利用の無い状態が続いており、引き続き、施設の有効活用について検討します。</p>
--

加古川市施策評価シート
(平成29年度施策実行プラン及び平成30年度施策評価)

教育指導部

基本目標	02 心豊かに暮らせるまちをめざして	政策	03 スポーツや文化・芸術を振興する
施策	01 スポーツ・レクリエーション活動を推進する		
施策の展開	1. スポーツ・レクリエーション活動の普及・促進		2. スポーツ・レクリエーション施設の整備・活用

基本方針	市民の誰もが、生涯にわたり、年齢、体力、技術に応じて、スポーツ・レクリエーションを楽しめる環境の充実を図ります。
------	--

まちづくりの指標(市民意識調査結果)とその他の関連指標

まちづくりの指標	総合計画策定時	H28	H29	H30	H31	H32	目標値(H32)
スポーツ・レクリエーションの活動の機会提供に関して満足している市民の割合	51.6% (H26年度)	61.4%	63.4%				58.0%
その他の関連指標	表記	H27	H28	H29	データ所管課等		
体育施設利用者数	単年度	786,130人	809,954人	745,006人	ウェルネス推進課		
加古川ツーデーマーチ参加者数	単年	7,465人	8,258人	8,366人	ウェルネス推進課		
加古川マラソン参加者数	単年	5,199人	5,516人	5,486人	ウェルネス推進課		
週1回以上スポーツをしている20歳以上の市民の割合	単年度	—	48.2%	—	社会教育・スポーツ振興課		

平成29年度施策実行プラン(施策実施計画)【年度当初】

※各部局における「現状と課題」とその解決に向けた「平成29年度施策実行プラン(施策実施計画)」

●宿泊館及び工作館の玄関アプローチが劣化し滑りやすくなっているため、安全確保のため改修工事を行います。また、老朽化した宿泊館の空調設備の全面改修や野外活動センター進入路(坂道)のアスファルト舗装、ポート体験活動に利用している池の転落防止柵の設置など安全確保に向けた検討を行います。

●加古川市スポーツ振興基本計画(H20～H29)の目標年次が終了するため、第2次スポーツ推進計画を策定するにあたり、平成28年度に実施した「スポーツ振興に関する市民調査」の結果を分析して現状把握を行うことにより、目標達成度合いを把握するとともに、次期基本計画の策定を行います。

●平成29年11月に第5回記念加古川市民スポーツカーニバルが開催されるため、市民にさまざまなスポーツに親しむ機会を提供する場として、寄与すると考えられることから、本大会の円滑及び効果的な開催を目的として補助金を交付します。

●加古川市体育協会には、現在28種目協会に約14,000人が所属しており、各種目協会で競技力の向上や競技人口の拡大に向けて様々な活動を行っています。この体育協会の組織力や各種目協会の活動を鑑み、スポーツ振興政策の一部については、市が単独で実施するよりも、体育協会がその業務を担ったほうが効率的であることから、優秀選手等表彰及び国体激励、各種目協会自主事業の一部について補助金を交付します。

平成30年度施策評価【年度終了後】

※各部局における「平成29年度施策実行プラン(施策実施計画)」の進捗状況と評価

進捗状況 : 「B 概ね期待どおり」

●宿泊館及び工作館の玄関アプローチを全面改修し安全を確保しました。

●平成28年度に実施した「加古川スポーツ振興に関する市民調査」の結果を踏まえ、平成30年度から10年間のスポーツ施策の指針となる「加古川市スポーツ推進計画」を策定しました。今後は、この計画に基づいた進捗管理を行います。

●平成29年11月2日～4日に第5回記念加古川市民スポーツカーニバルが開催され、約4,800人の参加がありました。市民に対し、東京2020オリンピック・パラリンピックを見据えた講演会やシンポジウム、また、パラリンピックの競技種目への理解など、さまざまなスポーツに親しむ機会を提供することができました。

●加古川市体育協会では、優秀選手・チーム表彰式、国体出場者激励会のほか各種目協会が自主事業を行い、競技力の向上や競技人口の拡大に向けて活動しました。

加古川市施策評価シート
(平成29年度施策実行プラン及び平成30年度施策評価)

秘書室

基本目標	02 心豊かに暮らせるまちをめざして	政策	03 スポーツや文化・芸術を振興する
施策	02 豊かな文化・芸術をはぐくむ		
施策の展開	1. 歴史資源の保存と活用 3. 国際交流の推進		2. 文化・芸術活動の促進

基本方針	歴史、風土に培われた地域の文化を守りながら、多様な文化・芸術に対する市民の理解や主体的な活動を促進するとともに、多様な文化への理解を深める国際交流を推進し、豊かな文化・芸術の創造に向けた環境を整えます。
------	---

まちづくりの指標(市民意識調査結果)とその他の関連指標							
まちづくりの指標	総合計画策定時	H28	H29	H30	H31	H32	目標値(H32)
文化・芸術に接する機会提供に関して満足している市民の割合	47.4% (H26年度)	59.5%	57.9%				52.0%
その他の関連指標	表記	H27	H28	H29	データ所管課等		
指定文化財数	単年度	119件	120件	122件	文化財調査研究センター		
主な文化施設の利用者数(市民会館、総合文化センター)	単年度	347,437人	385,805人	358,402人	ウェルネス推進課		
外国人住民数	各年12月末日現在の値	2,483人	2,520人	2,574人	市民課		

平成29年度施策実行プラン(施策実施計画)【年度当初】
※各部局における「現状と課題」とその解決に向けた「平成29年度施策実行プラン(施策実施計画)」
<ul style="list-style-type: none"> ●市民と外国人との交流は、国際交流センターを中心に行っていますが、当センターは建築してから26年が経過し、施設・設備の老朽化が見られます。よって、計画的な維持補修計画による修繕等を実施し、将来にわたって来館者が安心して利用できる施設管理を行います。 ●公益財団法人加古川市国際交流協会と協力して、市民による様々な国際交流活動を支援するとともに、各種イベントや生涯学習活動等を通じ、市民と外国人との交流を促進します。また、より多くの市民等が国際交流活動等を行うことができるよう、市の広報誌や国際交流協会のホームページを活用して各種イベント等をPRします。 ●国際交流協会を通じて、関係機関や市民ボランティアとの連携を図りながら、外国人住民からの様々な相談に対応します。 ●訪問団の受入れや派遣団の派遣などにより姉妹都市等との交流を促進します。

平成30年度施策評価【年度終了後】
※各部局における「平成29年度施策実行プラン(施策実施計画)」の進捗状況と評価
進捗状況 : 「B 概ね期待どおり」
<ul style="list-style-type: none"> ●国際交流センターは竣工から27年が経過し、老朽化が進んでいますが、清掃等の日常業務に加えて、設備・機器の定期的な点検により、修繕が必要な箇所を早期発見・改修することで、利用者の利便性の確保と中長期的な維持管理コストの低減につなげることができました。 ●市の広報誌や国際交流協会のホームページに加え、平成29年度からは国際交流協会フェイスブックを新たに開設し、事業やイベントのPRを行いました。また、外国人との交流イベントの開催など、より多くの市民が国際交流活動を行える機会を提供しました。 ●ボランティア活動紹介や募集については積極的に広報に努めました。ボランティア養成講座の実施や、「ウェルビーポイント」制度適用への準備などを進めたことなどから、外国人住民からの様々な相談に対応するボランティア活動者数を増やすことができました。 ●姉妹都市からの訪問団受入や派遣団の派遣などにより、姉妹都市等との交流を促進しました。また平成29年度は、姉妹都市への「かつめし」普及PR活動、また2020年パラリンピック開催に際しての事前視察団受入など、食やスポーツを通じた交流への支援を行いました。

加古川市施策評価シート
 (平成29年度施策実行プラン及び平成30年度施策評価)

協働推進部

基本目標	02 心豊かに暮らせるまちをめざして	政策	03 スポーツや文化・芸術を振興する
施策	02 豊かな文化・芸術をはぐくむ		
施策の展開	1. 歴史資源の保存と活用 3. 国際交流の推進		2. 文化・芸術活動の促進

基本方針	歴史、風土に培われた地域の文化を守りながら、多様な文化・芸術に対する市民の理解や主体的な活動を促進するとともに、多様な文化への理解を深める国際交流を推進し、豊かな文化・芸術の創造に向けた環境を整えます。
------	---

まちづくりの指標(市民意識調査結果)とその他の関連指標

まちづくりの指標		総合計画策定時	H28	H29	H30	H31	H32	目標値(H32)
文化・芸術に接する機会提供に関して満足している市民の割合		47.4% (H26年度)	59.5%	57.9%				52.0%
その他の関連指標		表記	H27	H28	H29	データ所管課等		
指定文化財数	単年度	119件	120件	122件	文化財調査研究センター			
主な文化施設の利用者数(市民会館、総合文化センター)	単年度	347,437人	385,805人	358,402人	ウェルネス推進課			
外国人住民数	各年12月末日現在の値	2,483人	2,520人	2,574人	市民課			

平成29年度施策実行プラン(施策実施計画)【年度当初】

※各部局における「現状と課題」とその解決に向けた「平成29年度施策実行プラン(施策実施計画)」

●文化施設の利用者数は一定を推移していますが、今後、新しいニーズを確保し利用者数の増加に努められるよう、指定管理者の主催事業を効果的に実施します。また、総合文化センターでは、平成26年度からアドバイザーボードを設置し、学識経験者や教育関係者のほか、利用者代表からのご意見等を頂戴しながら施設の管理運営を行っています。平成29年度は、これらのご意見等を活かした取り組みをより一層推進し、地域の文化振興の普及と促進に努めます。

平成30年度施策評価【年度終了後】

※各部局における「平成29年度施策実行プラン(施策実施計画)」の進捗状況と評価

進捗状況 : 「B 概ね期待どおり」

●文化施設においては、市民会館の「避難訓練コンサート」、総合文化センターの「声優による絵本の読み聞かせ」など新しい事業を実施しました。

また、総合文化センターにおいて設置が義務付けられているアドバイザーボードの意見を取り入れ、ロビーでの月替わりの所蔵作品展示を新規に行うとともに、前年度から行っているロビーコンサートについても引き続き実施しました。

利用者の声等によりいただいたご意見については、ハード面、ソフト面とも可能な範囲で実施しました。

加古川市施策評価シート
(平成29年度施策実行プラン及び平成30年度施策評価)

教育指導部

基本目標	02 心豊かに暮らせるまちをめざして	政策	03 スポーツや文化・芸術を振興する
施策	02 豊かな文化・芸術をはぐくむ		
施策の展開	1. 歴史資源の保存と活用 3. 国際交流の推進		2. 文化・芸術活動の促進

基本方針	歴史、風土に培われた地域の文化を守りながら、多様な文化・芸術に対する市民の理解や主体的な活動を促進するとともに、多様な文化への理解を深める国際交流を推進し、豊かな文化・芸術の創造に向けた環境を整えます。
------	---

まちづくりの指標(市民意識調査結果)とその他の関連指標

まちづくりの指標	総合計画策定時	H28	H29	H30	H31	H32	目標値(H32)
文化・芸術に接する機会提供に関して満足している市民の割合	47.4% (H26年度)	59.5%	57.9%				52.0%
その他の関連指標	表記	H27	H28	H29	データ所管課等		
指定文化財数	単年度	119件	120件	122件	文化財調査研究センター		
主な文化施設の利用者数(市民会館、総合文化センター)	単年度	347,437人	385,805人	358,402人	ウェルネス推進課		
外国人住民数	各年12月末日現在の値	2,483人	2,520人	2,574人	市民課		

平成29年度施策実行プラン(施策実施計画)【年度当初】

※各部局における「現状と課題」とその解決に向けた「平成29年度施策実行プラン(施策実施計画)」

- 歴史資源の保存と活用のため、史跡、建造物、考古資料、民俗資料と古文書等の文化財を主要な歴史資源と考え、必要な調査を行い、適正な保存を行うとともに公開を行います。
- 加古川市歴史文化基本構想の策定準備のため、事前把握及び基礎調査を行います。
- 開発に伴う埋蔵文化財調査については、事業者と調整を図りながら実施し埋蔵文化財の保護又は記録保存を行っていきます。中でも、雁戸井土地改良区ほ場整備事業については、事業者及び地元との調整を図りながら、分布調査及び本発掘調査を行います。
- 市指定文化財については、文化財審議委員会に諮りながら、新たに指定することを含め、必要な措置を行います。
- 歴史資源に対する認識を高めるため、文化財講座の開催、文化財ニュース並びに文化財解説シートの発行、ホームページなどによる情報発信を行っていきます。
- その他、地域の伝統文化の継承や再興の支援に協力するとともに、文化財関係団体の主体的な活動を促進します。

平成30年度施策評価【年度終了後】

※各部局における「平成29年度施策実行プラン(施策実施計画)」の進捗状況と評価

- 進捗状況 : 「B 概ね期待どおり」
- 文化財の保存と活用のため、市指定文化財、古墳、石仏などの現状確認や巡視を行いました。また、兵庫県指定文化財の本岡家住宅について、少年自然の家無料散策日や文化財保護強調月間(11月)に建物の内部を特別公開しました。加古川総合文化センター博物館では、古墳の出土品や考古資料、民俗資料を展示し、地域の歴史を紹介しました。
 - 加古川市歴史文化基本構想の策定準備のため、市内の文化財について基礎調査を行いました。また、各町内会・自治会長へのアンケート調査を実施し、意見や情報を集約・分析しました。
 - 埋蔵文化財保護のため、宅地造成や住宅建設などの届出に対して確認調査を実施し、溝之口遺跡などで遺構が確認されました。雁戸井土地改良区ほ場整備事業に伴う分布調査及び本発掘調査を行い、現地説明会を開催しました。また、別府町石町と八幡町上西条でそれぞれ中世墓の遺跡を発見し、発掘調査の結果、様々な遺物が出土しました。
 - 市指定文化財として、天坊山古墳出土品一括24点及び木造聖徳太子立像1軀(く)を新たに指定しました。
 - 地域の歴史や文化財への理解を深めるため、文化財講座を3回開催し、延べ222名の参加がありました。また、前年度の事業内容をまとめた「文化財ニュース」を全戸配布し、指定文化財を個別に掲載した「文化財解説シート」を関係施設に配布、ホームページにも公開するなど、情報発信を行いました。
 - 文化財関係団体による伝統芸能・伝統行事の公開・後継者育成、古典に親しむ活動などの取組みに対する支援に協力し、活動を促進しました。

加古川市施策評価シート
 (平成29年度施策実行プラン及び平成30年度施策評価)

市民部

基本目標	02 心豊かに暮らせるまちをめざして	政策	04 互いに尊重しあって暮らせる社会を実現する
施策	01 人権文化を確立する		
施策の展開	1. 人権教育・啓発の総合的推進		2. 人権教育・啓発・相談体制の充実

基本方針	市民一人一人が人権意識を高め、日常生活の中でお互いの人権を尊重し、ともに生きる社会の実現を目指します。
------	---

まちづくりの指標(市民意識調査結果)とその他の関連指標								
まちづくりの指標		総合計画策定時	H28	H29	H30	H31	H32	目標値(H32)
人権教育や人権啓発の推進に関して満足している市民の割合		54.2% (H26年度)	62.80%	63.6%				61.0%
その他の関連指標		表記	H27	H28	H29		データ所管課等	
人権講演会等の参加者数	単年度		4,908人	4,981人	5,381人		人権文化センター	

平成29年度施策実行プラン(施策実施計画)【年度当初】
<p>※各部局における「現状と課題」とその解決に向けた「平成29年度施策実行プラン(施策実施計画)」</p> <p>「現状と課題」</p> <ul style="list-style-type: none"> ●本市では、同和問題はもとより、さまざまな人権課題の解消に向け教育や啓発に取り組んでいるところですが、近年インターネット上での人権侵害や性的マイノリティなど新たな課題が発生し、また、部落差別の解消の推進に関する法律が施行されるなど、社会情勢の変化や国の動向を注視していく必要があります。 ●市が実施する人権講演会等については、参加者の固定化や若年層の参加が少ない等の課題があったため、人権を身近に感じられるよう内容を工夫してきたところですが、引き続き、幅広い年齢層の多くの人の参加が得られるよう取り組んでいく必要があります。 <p>「施策実行プラン」</p> <ul style="list-style-type: none"> ●さまざまな人権課題の解消をめざし、昨年実施した市民意識調査の結果や社会情勢の変化等を踏まえ、平成30年度からの人権施策の基本方針を示す「加古川市人権教育及び人権啓発に関する基本計画」を策定します。 ●人権講演会等への参加者の増加を図るため、イベント内容の工夫とともに、「ホームページ」や「人権文化センターだより」を活用し開催をPRしていきます。また、学校園や関係団体等を通じて情報を発信していきます。

平成30年度施策評価【年度終了後】
<p>※各部局における「平成29年度施策実行プラン(施策実施計画)」の進捗状況と評価</p> <p>進捗状況 : 「A 期待どおり」</p> <ul style="list-style-type: none"> ●平成28年度に実施した「加古川市人権に関する市民意識調査」の結果を踏まえ、本市の新たな人権施策の指針となる「加古川市人権教育及び人権啓発に関する基本計画」を策定しました。 ●昨年度に引き続き、幅広い年齢層が参加し、人権について考える機会を提供するイベントとして、8月に「かこがわハートフルフェスタ」を開催しました。 <p>参加申込方法について、従来の郵送等に加え、イベントPR用チラシに掲載したQRコードからの直接申込を設定したことにより、参加者が昨年度の576人から837人に増加しました。</p> <p>なお、アンケート調査の結果、昨年度と同様9割以上の人が「よかった」との評価であり、「次回も参加したい」の回答も9割以上ありました。</p> <p>また、講演会等の開催について、市や県啓発協会の「ホームページ」や「加古川市人権文化センターだより」等により周知を行うとともに、学校園や関係団体等の協力を得て周知に努めた結果、参加者数が昨年度に比べ約8%増加しました。</p>

加古川市施策評価シート
(平成29年度施策実行プラン及び平成30年度施策評価)

協働推進部

基本目標	02 心豊かに暮らせるまちをめざして	政策	04 互いに尊重しあって暮らせる社会を実現する
施策	02 男女共同参画社会の形成を推進する		
施策の展開	1. 男女共同参画社会の実現に向けた啓発の推進 2. 男女共同参画社会の実現に向けた制度の整備・運用		

基本方針	男女共同参画の意識醸成と環境づくりを推進し、市民一人一人が性別にかかわらず、その個性と能力を十分に発揮できる社会の実現を目指します。
------	--

まちづくりの指標(市民意識調査結果)とその他の関連指標							
まちづくりの指標	総合計画策定時	H28	H29	H30	H31	H32	目標値(H32)
男女共同参画の啓発に関して満足している市民の割合	48.8% (H26年度)	58.7%	58.9%				52.0%
その他の関連指標	表記	H27	H28	H29	データ所管課等		
審議会等への女性の参画率	単年度	33.3%	29.2%	30.2%	男女共同参画センター		

平成29年度施策実行プラン(施策実施計画)【年度当初】
※各部局における「現状と課題」とその解決に向けた「平成29年度施策実行プラン(施策実施計画)」
<ul style="list-style-type: none"> ●平成28年度を初年度とする「第4次男女共同参画行動計画」に基づき、実効的な取組を進めるため、各施策の推進状況を積極的に公開します。 ●男女共同参画推進に係る新たな啓発事業として、LGBTや婚活をテーマにしたセミナーを開催します。 ●女性活躍推進法に基づく、女性の社会進出や多様な働き方に対応するため、地域活動やキャリアアップをテーマとした連続セミナーを開催するとともに、各種制度や取組事例などを掲載した啓発冊子を作成します。 ●仕事と子育ての両立支援を目的として、子育てをしながら働くことのできる「子育てオフィス」の整備に係る補助事業とともに、ワーク・ライフ・バランスの効果的な啓発と浸透を図るため、関係機関等との連携による企業向けセミナーを開催します。

平成30年度施策評価【年度終了後】
※各部局における「平成29年度施策実行プラン(施策実施計画)」の進捗状況と評価
進捗状況 : 「B 概ね期待どおり」
<ul style="list-style-type: none"> ●第4次男女共同参画行動計画に基づいた取組状況については、ホームページなどで公開しました。 ●男女共同参画に係る啓発事業として、新たに性的マイノリティや婚活をテーマにしたセミナーを開催するとともに各種講座の充実を図りました。(講座実施回数:50回) 参加者の満足度は平均97.6%(前年度比+2.4%)、参加者数1,496人(前年度比+114人)となり、多くの参加と高い満足度を得ることができました。 ●女性の社会進出や多様な働き方に対応するため女性を対象にした連続セミナーを実施しました。(実施回数:10回、のべ参加者数220人) また、各種制度や取組事例などを掲載した啓発冊子を1,000部作成し、女性の就業支援セミナーの機会やハローワーク等の関係機関との連携を通じて配布し、広く意識の高揚を図りました。 ●平成28年度に整備された「子育てオフィス」に対する運営経費の補助を行い、子育てをしながら働くことができる機会を創出しました。 ●ワーク・ライフ・バランスの効果的な啓発と浸透を図るため、商工会議所等と連携して事業所向けにセミナーを開催し、ワーク・ライフ・バランスの啓発を行いました。(参加事業所数:21社、参加者数:35人)

加古川市施策評価シート
(平成29年度施策実行プラン及び平成30年度施策評価)

こども部

基本目標	02 心豊かに暮らせるまちをめざして	政策	04 互いに尊重しあって暮らせる社会を実現する
施策	02 男女共同参画社会の形成を推進する		
施策の展開	1. 男女共同参画社会の実現に向けた啓発の推進	2. 男女共同参画社会の実現に向けた制度の整備・運用	

基本方針	男女共同参画の意識醸成と環境づくりを推進し、市民一人一人が性別にかかわらず、その個性と能力を十分に発揮できる社会の実現を目指します。
------	--

まちづくりの指標(市民意識調査結果)とその他の関連指標							
まちづくりの指標	総合計画策定時	H28	H29	H30	H31	H32	目標値(H32)
男女共同参画の啓発に関して満足している市民の割合	48.8% (H26年度)	58.7%	58.9%				52.0%
その他の関連指標	表記	H27	H28	H29	データ所管課等		
審議会等への女性の参画率	単年度	33.3%	29.2%	30.2%	男女共同参画センター		

平成29年度施策実行プラン(施策実施計画)【年度当初】

※各部局における「現状と課題」とその解決に向けた「平成29年度施策実行プラン(施策実施計画)」
 配偶者等からの暴力を受けた被害者の相談、自立に向けた支援を行うために、加古川市配偶者暴力相談支援センターの運営を行っています。また、平成28年度から平成32年度を期間とした「加古川市配偶者等からの暴力対策基本計画」に基づき、気づきに重点をおいた啓発を継続して行うとともに、庁舎内の連携を深めるためのネットワーク会議の開催など、円滑な被害者支援を実施するための取組みを進めています。今後も、配偶者等からの暴力に関する相談のほか、離婚等の悩みや問題についての相談が増加すると思われるため、相談体制の充実を図り、精神的・経済的な不安を取り除いて、安心して自立した生活が営めるよう支援を行います。

平成30年度施策評価【年度終了後】

※各部局における「平成29年度施策実行プラン(施策実施計画)」の進捗状況と評価

進捗状況 : 「A 期待どおり」
 加古川市配偶者暴力相談支援センターにおいて、配偶者からの暴力等の相談に応じるとともに、女性の自立に向けた支援を行いました。また、庁内の関係部局が参画する「加古川市庁内DV対策連絡会議」を開催し、「加古川市配偶者等からの暴力対策基本計画」の進捗状況の確認や支援の方法等の協議を行い、総合的な被害者支援の充実を図りました。